

【学習活動の概要】

1 単元名	見つめて守ろう かけがえのない地域環境～環境保全の提言リーフレットづくり～
2 単元の目標	地域環境の問題状況をとらえ、環境保全のための提言リーフレットをつくる活動を通して、地域環境の現状や問題点、かけがえのなさを理解するとともに、環境保全のための解決策を自分の生き方と結び付けて考え、具体的な環境保全の提言として発信、実践できるようにする。
3 評価規準	<p>【よりよく問題を解決する資質や能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域環境の現状と問題点から、環境保全の提言をするための、自分にとって価値ある課題を設定している。 <p>【学び方やものの考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域環境の状況を整理・分析、判断し、相手や目的、意図に応じた環境保全の提言をまとめている。 <p>【主体的・創造的、協同的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力して調査したり、地域の様々な立場の人々の意見を聞いたりして、課題解決しようとしている。 <p>【自己の生き方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの生活や生き方を見直して具体的な環境保全の提言をもち、環境保全活動に取り組んでいる。
4 教材	<p>豊かな自然を観光スポットとする地域であるが、「昔、星はもっときれいに見えた」という指摘があるように、環境保全が問題になりつつある。</p> <p>環境保全のための解決策を自己の生き方と結び付けて考え、具体的な提言を「環境保全の提言リーフレット」にまとめる活動を本単元の中心活動とし、調査活動等でお世話になった地域の人を訪問してリーフレットを届け、提言の可能性や実践への決意、協力をお願いを述べる。また、提言を実践する。</p> <p>これらの活動を、社会の一員としての自覚の高まりや環境保全のための主体的な取組につなげていくことを期待して単元を構成した。</p>

5 主な学習活動		
(1)単元の展開 (全22時間)		
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
第一次 (4)	地域環境への問題意識を深めるために、環境クイズや講話、見学、体験活動によって情報を収集する。	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚的な情報も情報カードに言語化し、的確に整理するようにする。 ・国語科で身に付けた「必要に応じて質問しながら聞き取る力」等を生かすようにする ・グループで多様な意見を出し合い、「比較する」等の技法を活用して情報を多面的に整理・分析し、文章、図等、各教科で身に付けた表現方法で適切に表すようにする。 ・「関連付ける」「序列化する」等の技法を活用して情報を再構成し、提言(主張)の根拠とする情報を精選するとともに、提言や根拠を明確にするようにする。 ・協同的な推敲活動で、相手、目的、意図の明確化、内容や表現を精選、見出し等の工夫を行い、説得的なリーフレットにするようにする。 ・言語で振り返り、まとめる活動を行い、成果や新たな課題を自覚するようにする。
第二次 (6)	情報を整理・分析して、提言をもつための個人課題を設定する。 類似課題グループで、課題探究計画を立て、水質調査等の調査活動、立場の異なる人々へのインタビューやアンケート調査を行う。 グループで、調査結果を整理・分析する。	
第三次 (6)	・収集した情報(調査結果)の整理 ・比較、分類、関係付け等 個人で、情報の妥当性を考えたり、自己の生き方を見直したりして、提言をまとめる。	
第四次 (6)	提言の根拠となる情報と、提言からなる「環境保全の提言リーフレット」をつくる。 (本時 2/6) ・仮作成リーフレットのグループ内検討と推敲 お世話になった人にリーフレットを届け、提言の可能性や実践に向けた決意、協力をお願いを述べる。 自己評価で活動を振り返り、環境保全活動に取り組む。	

(2)本時の学習

個人で仮作成したリーフレットを、類似課題グループ内でアドバイスし合い、推敲する。

国語科等の学習を想起して、説得的なリーフレットについて確認し、アドバイスの視点を決める。
仮作成したリーフレットをグループ内で互いに読み合い、調査活動や結果の整理・分析活動の共有を生かして、視点ごとに付箋紙に書いてアドバイスし合う。
アドバイスに基づき、各自でリーフレットを推敲する。

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

中学校学習指導要領 第4章 総合的な学習の時間 第3の2の(2)において、「問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。」と示している。

言語によりまとめたり表現したりする学習活動では、分析したことを論理的文章やレポートに書き表したり、スピーチや説明をしたりすることなどが考えられる。文章やレポートにまとめることは、それまでの学習活動を振り返り、体験したことや収集した情報と既存の知識とを関連させ、自分の考えとして整理することにつながる。

本事例は、個人で仮作成した「環境保全の提言リーフレット」をより説得的なものにするために、グループでアドバイスし合い推敲する場面である。限られた紙面で説得的に自己の主張を伝えるリーフレットでは、相手、目的、意図を明確にして、内容や表現を精選、工夫することが求められる。

そのために、個人の表現活動にとどめず、学級全体や、調査活動や調査結果の整理・分析活動を共有した仲間で、多様な意見やアイデアを出し合う協同的な推敲活動とした。

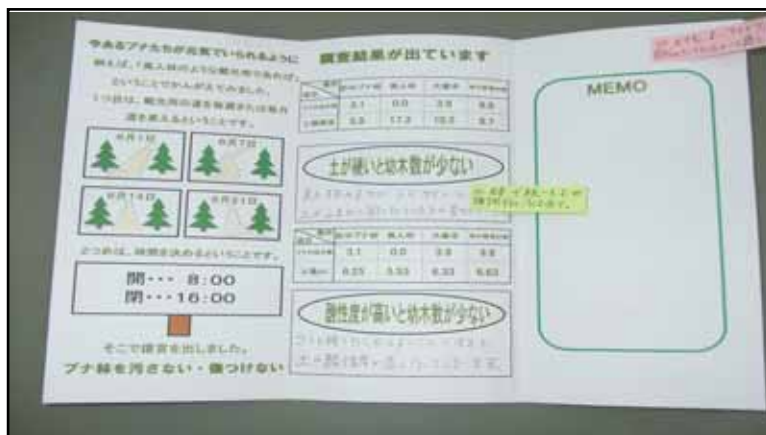
【言語活動の充実の工夫】 - 協同的に見出した視点やアドバイスに基づく推敲活動

生徒は、類似課題グループで、水質調査等の調査活動、インタビューやアンケート調査を行い、調査結果を整理・分析した。その後、個人で調査結果の妥当性を考えたり、自己の生き方を見直したりして、環境保全の提言(主張)をまとめ、提言の根拠とする調査結果を精選した。提言の文章や見出しは説得的な表現となるよう工夫し、調査結果は図やグラフ等を用いて効果的に表すよう努めて、「環境保全の提言リーフレット」を仮作成した。

本時では、仮作成したリーフレットを類似課題グループ内でアドバイスし合いながら、推敲する。まず、学級全体で国語科、美術科等の学習を想起して説得力のあるリーフレットの条件を確認し、より説得的なリーフレットにするために、アドバイスの視点を次のように決めた。

- ・相手、目的意識が明確か
- ・実行可能な、具体的な提言か
- ・根拠とする調査結果と提言が効果的に関係付いているか
- ・説得的な表現に工夫されているか
- ・図、グラフ、表の種類や座標軸の表現等が適切か
- ・レイアウト、色彩は効果的か

次に、仮作成したリーフレットをグループ内で読み合い、視点ごとにアドバイスを付箋紙に書いて貼った。



【リーフレット】

今、川が危ない。メダカが姿を消しています。メダカのために家庭排水を減らしましょう。

【アドバイス】もっと具体的な提言に。「重曹を使っている」などのインタビュー結果をヒントにしたらいいのでは。

最後に、各自がアドバイスを生かしてリーフレットを推敲した。

教師が提示した視点ではなく、学級全体で協同的に見いだした視点であったこと、協力して調査活動を行い、調査結果の整理・分析に努めた仲間ならではのアドバイスであったことから、主体的に推敲活動が行われた。多角的に分析し、与えられたアドバイスは的確であり、推敲後のリーフレットはより説得的なものとなった。協同的に見いだした視点やアドバイスに基づく推敲活動により、生徒は自分の考えを一層確かなものになるとともに、説得的に表現する力を互いに高め合ったと言える。

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類： ， （ 分類番号は P5 表参照）